

やいた未来ミーティング（子育て世代）会議録

日 時：令和元年10月31日（木）

19：00～20：58

場 所：片岡公民館

出席者：市長

片岡中学校PTA役員 5名

1 開 会 19：00 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

平成28年7月から2年間をかけ、矢板市内65行政区で「未来づくり懇談会」を行った。1,100名を超える市民の方から意見や要望があったが、参加者の8割は60歳以上という状況であった。それを受けて平成30年度は「未来づくり懇談会」を補完する形で、子育て世代や市内3つの高校生、矢板市PTA連絡協議会を対象とした「やいた未来ミーティング」を10回開催した。今年度は、小中学校単位で開催し、意見や要望を聞かせてもらいたい。

3 説明事項

「矢板市子ども未来基金の創設について」

市長

この基金を始めたきっかけは、子ども医療費助成制度の問題からスタートした。矢板市では、平成24年度から高校3年生まで医療費の無償化をしているが、無償化の方法としては、医療機関の窓口で支払い後、手続きをしてお金が戻ってくる償還払方式。

近年、栃木県内の市町では、医療機関の窓口で支払いが必要ない現物給付方式が増えてきたことから、矢板市としてどうするかを平成30年度に検討を行ったところ、同じ医療費の無償化でも、現物給付方法にすることで、矢板市の負担額が大幅に増えることがわかった。

理由としては、病院に行くほどでもない病気等であっても受診してしまう医療のコンビニ化や、国の負担金や県の補助金の減額がある。また、他の医療費助成制度を利用しなかったり、各種健康保険の付加給付が受けられないなどがあった。他にも小中学生など加入している、日本スポーツ振興センター保険を手続きが面倒くさいと言って利用しないなど複数の要因がある。

現物給付を行っている市町の医療費の伸びを見て試算したところ、中学3年生まで現物給付を拡大した場合には年間4,500万円、高校3年生まででは年間6,200万円も負担が増えることが確認された。

これらの要因を踏まえ検討した結果、市としては現物給付ではなく、中学3年生まで

拡大した場合の4, 500万円をもっと違った使い方にしようと、子ども未来基金を創設し、子ども子育て支援に繋がっていくような取り組みをしようと決断をした。

基金の用途については、平成31年2月から3月にかけてPTA役員にアンケート調査を実施し、1番多かった給食費の助成と4番目の小中学校の学用品購入の助成とした。2番目に多かった予防接種の助成拡充については、平成31年4月からインフルエンザの予防接種の助成年齢の拡大が1月の時点で決定していたことから除外とした。3番目の学校施設の整備や備品購入についても、具体的な内容を聞いてみたところ、エアコンの設置であった。エアコンの設置についても、1月の時点で全ての小中学校の普通教室にエアコンを設置することで決定していたことから除外とした。

本年度は、基金4, 500万円の3分の2となる3, 000万円くらいを使用する。

また、償還払い方式の利便性向上として、我々の努力不足もあったかもしれないが、平成30年度に実施した懇談会で、1レセプト500円かかるとか、申請方法が複雑、郵送申請についても意外と知られていなかったことから、平成31年4月から子ども医療費の申請書類と郵便受取人払いの封筒を医療機関に設置することとした。

償還払いは面倒だと思える方は多いと思うが、まだまだ利便性を向上できるのではないのかと思っているので、市では現物給付の対象年齢を引き上げないという選択をした。

その上で限られた財源用途を、引き続き皆さんをはじめとする小中学生の保護者の方から声を聞きたい。年度末にはもう少し広い範囲でアンケート調査をしたいと考えている。ムリ、無駄のない「矢板モデル」という医療費助成の制度や、子育て支援制度を確立していきたいと考えている。

3 意見交換テーマ

「子育てしやすいまちづくり」

市長

テーマに入る前に材料を提供したい。本年度の矢板市立小中学校5大ニュースということで、一つ目は全国学力テストで市内の小学6年生が昨年につき、全教科で全国平均を上回った。全国学力テストは、全国の小学6年生と中学3年生を対象に毎年実施をしているが、市内の小中学生は昨年度まで、県の平均はもとより、全国平均で上回ることはなかった。昨年度の全国学力テストでは、教育委員会のいろいろな取り組みが功を奏し、小学6年生の国語A・B、算数A・B、理科の全ての教科で県平均、全国平均を上回った。本年度も小学6年生は全教科で全国平均を上回ったところ。今の教育長になってから、学校での授業改善の努力と家庭学習の取り組みの成果が具体的な形になってきたと思っている。今後ともさらなる学力向上に取り組むと共に、中学3年生については全国平均を全教科で上回ったことがない状況なので、中学生の学力向上に結びつけたい。

2つ目は、全ての小中学校普通教室にエアコン設置ということで、6月末までにエアコン設置をした。

3つ目は、トイレの洋式化。平成28年の洋式化率は24.2%。県内25の市町で最下位。平成29年度に矢板中学校の整備、本年度は東小学校での工事が間もなく始ま

る。また、矢板小学校分も国の予算が付いて、年度内に整備を進めていく。

4つ目は未来基金。5つ目は、小中学校の適正規模・適正配置の建議だが、現在、計画づくりが内部で進められている。片岡中学校がなくなるというのは今の建議の中にはないが、片岡地区の小学校のあり方については検討が必要。

Q 1

保護者

未来基金の1万円の助成は、今後も続くのか？

市長

今後も続くが、もう1回くらいアンケートを取ろうと思っている。年度途中だったため、学校事務の先生が大変だった。徴収の手間や担任の先生や事務の先生の意見など、親御さんだけではなく、学校側の意見も聞いてみようと思っている。教材費を集める手間も減れば教科に専念してくれる可能性もあると思う。

Q 2

市長

給食費はどうか？

保護者

お弁当の日が年に3回ある。プラス行事もあるのでお弁当何回作ればいいのか。

保護者

給食費が高いから仕方がない。

保護者

そう思っていたが市によって違うと思った時にそうなのかと・・・。

市長

矢板の給食費は高い？安くはない。

保護者

値段は変わらないと思う。

保護者

弁当の日？何それと他の市の人から言われた。

保護者

さくら市もある。年3回くらい。

保護者

全部なのかと思ったらそうでもない。

市長

弁当の日は無い方が良い？

保護者

無い方が良い。

保護者

多分、片親の所は大変だと思う。

保護者

遠足や校外学習の時も弁当だし。

市長

それはどういう理由なのか。

保護者

給食を減らす理由で年に何回かという手紙をもらった。米が高騰などになった時にそういうふうになってしょうがないかと。

市長

給食費については、消費増税の関係があったが、値上げしないことや、単なる補助ではなく、地産地消を推進している部分もある。

Q 3

市長

別の学校の懇談会で話がでたが、小学校の教材費についてはどうか。

保護者

毎月決められた額が引き落とされているのに細かいのが来るのが・・・。

保護者

集めるのが大変。

保護者

先生いわく、集金などは期限内に基本集まると言っていたが、そうではないところは大変と聞いた。

市長

集まらないところもあるでしょうね。

保護者

片小は基本口座引き落とし。引き落としの年間予定がある。

保護者

引き落とし以外にも月々だと2～3千円ある。

保護者

中学校は教材費があるが小学校は教材費がない。

保護者

乙畑に関してはJ Aと那須信用組合に指定されている。

保護者

電子マネーにならないかと思っている。

保護者

給与振込みが足銀なのに、わざわざJ Aに口座をつくり、忙しい最中入金しなくてはいけない。

市長

それは学校によってでしょうね？

保護者

乙畑は最初に提携したのが J A だったから。今年度から引き落としの手数料が 50 円くらいかかっているが、そうなんだと思っているが、他の学校は足銀で引き落としができる。

保護者

手数料もあるが、わざわざ足銀から那須信組に入金するのは不便。

市長

学校によって取扱いがバラバラなのか？

教育部長

学校による。校長会でも話が出ている。

保護者

来年とは言わずとも今後のことを考えると。

保護者

今まで足銀と提携していたところは手数料かからないが、改めて提携するとことは手数料が発生する。選択肢があった方が保護者としては利便性を考えるとそっちのほうが。

保護者

私は職場が那須塩原で、J A が異なるので、時間に間に合うようにしなくてははいけない。

保護者

お金が無いわけではないのに集金できなかったという通知をもらったことがある。

市長

この件は持ち帰る。

保護者

同じ給食費なのに手数料を支払っているのでは額が違う。

保護者

ばらつきが出ているのが現実。

市長

矢板中と東小で問題はあったのか？

秘書広報課

足銀なので何も問題はない。手数料に関しては豊田小と泉小であったと聞いた。

市長

給食費をどうやって徴収しているか分からないが、給食費の徴収事務は市内の小中学校で一元化することが出来るのではないかと。

保護者

そうあるべきだと思う。先生の事務負担にもなっている。

市長

一元化し、嘱託員を置いて教育総務課で行うとか。金額がバラバラだとできないか。

秘書広報課

金額がバラバラでも引き落としはできるのではないかと。J A でも足銀でも栃銀でも税

金の引き落としは普通に行っている。

市長

税金は大丈夫なのになぜ給食費だけ。

保護者

おそらく、矢板市は現場にやらせている。学校ごとに。他市は一括でやっている。

市長

全然知らなかった。

保護者

先生の中でも、矢板市の学校によって銀行や口座が違うのが当たり前になっているが、他から来て何で？となっている。先生から保護者は大丈夫なの？と言われた。

保護者

他の状況を知らないからそういうものだと思っていた。そういうものだと思っているのでクレームには繋がらない。

保護者

個人的に学校とやりとりをした保護者もいたようだ。

市長

課題については分かったつもりなので、あとは教育総務課に持ち帰る。

保護者

集金袋がランドセルの中でぐちゃぐちゃになってしまい足りないということもあった。

Q 4

市長

他で良く出てくるが、部活動や学力向上はどうか。

保護者

統廃合の部分でいろいろでなかったのか？

市長

統廃合に取り上げられていない学校は全くでない。豊田小、川崎小、泉小は結構あったが。片岡中については残る。ただ、施設一体型の小中一貫校にするという提案があり、教育委員会でも認め、今は市に預けられている。

保護者

小学校をどう統合するかはこれからの話で・・・。

市長

片岡地区の小学校を1つにして、それだけではなく中学校と一緒にして、施設一体型の小中一貫の9年間。小中一貫にもいろいろあり、泉地区のように小・中学校で運動会を一緒にするなどの考え方や、施設一体型という話になる。仮に乙畑小と安沢小を片岡小に統合して、片岡小と片岡中を一緒にした場合、校舎をどこにするのかは難しい。小学校と中学校の部活を一緒にするというわけにもいかない。

保護者

全てがそこからのスタート。

市長

先行して小学校を一緒にしてもらおうという話もある。各学校の児童・生徒数の推移をみてもらうと、2019年5月1日現在、片岡中は195人だが、2024年には185人になる。小学校は、片岡小は246人、乙畑小は94人、安沢小は106人という現状だが、将来的に片岡小は激減する。乙畑小は100人台を回復する状況だが、つつじヶ丘ニュータウンの最終分譲がはじまり、まだ産まれていない子供も入れれば、もっと延びると考えられる。安沢小は来年くらいには100人を割り、100人前後で推移していく状況で、この積み上げが中学校の生徒数になる。

中学校に話を戻すが、文部科学省では、中学校は1学年3クラスが望ましいと平成26年度に新たな方針を出している。小学校については1学年2クラスと示している。理由としては、小学校については、いじめの問題や相性の悪い友達同士を引き離すために、クラス替えをするため。中学校については教科担任制となるため、教科の先生が不足する。1学年1クラスで担任、副担任、校長先生、教頭先生、教務主任の先生を投入してもまわらない。

保護者

一教科一担任しかいない。全学年2クラスになったことで先生が減らされた。

市長

コマ数が多い国語の先生は多分、かけ持ちしていないか？

保護者

何名かいる。

市長

平成28年度に統廃合で残ると言われていた学校は、矢小、東小、片小、矢中のみ。今のところ片中は残っているが、施設一体型にして、小学校の先生も入れれば回るのはないかということかもしれない。

保護者

中学校は一教科に一先生。その先生が体調不良などで休むと代替りの先生は教えられない。数日間休むと授業が遅れてしまう。一番厳しいのは部活。先生が少ないと部活の顧問も出来る先生がいなくなる。すると部活動を選択することができない。

市長

ちなみに今、片中には部活は何があるのか？

保護者

男子はサッカー、卓球、陸上。女子がソフトテニス、バレー、バスケ、ソフトボール。

保護者

ソフトボールは来年なくなる？

保護者

そこは決まってはいない。ただ、人数が入ってこないというだけ。矢中と組んでもギリギリ。

保護者

バスケは人数がいなくて新人戦に出られなかった。

市長

小学生で言えば、矢板南ファイターズは大したものだと思う。

保護者

あそこは保護者も熱心。ソフトもあるが人数は減ってきているし、バスケも6年生が引退すると一気に人数が減ってしまう。子ども達の運動能力の面を市として支えるところはどこなんだろうとなってしまう。

市長

子どもの運動能力というのを全く考えてこなかった。未来ミーティングが始まり、子どもの体力向上について気にしている保護者の方がいた。その一つとしては部活動をどうするのか。

保護者

運動する機会が無いから他市のクラブなどに参加している保護者の方も結構いる。スイミングもなくなってしまった。さくら市に行っている方が多い。

市長

片岡地区ではスイミングは氏家？

保護者

乙畑小に関しては、6年間通っていれば、スイミングに行かなくても25m泳げるようになる。一人分が使うスペースが広いし、上の学年と遊ぶのでスイミングに行かなくても大丈夫と先生に言われた。6年生になると25m泳げてリレーが出来る。

Q5

保護者

那須塩原市で働いていて思うのが、障がいを持った子への対応。那須塩原市では市で看護師を雇っている。常勤の看護師がいる学校もある。黒磯地区で2～3人看護師を雇い、手を掛けなくてはいけない子の専属のサポートみたいな形でとっている。今までは、病気があるから岡本台に行っていたが、市でその子を見守る。親としても看護師のいる学校はここだけとなってしまう、兄弟がバラバラになることもあるが、朝、岡元台に行き、他の子はこっちでというのがなくなっているようだ。

市長

それは身体障がいなのか？

保護者

そうです。

市長

それは、岡本特別支援学校？のざわ特別支援学校？岡本台病院ではないですね？

保護者

ではない。乙畑小、片中にもいるが、1～2年生まで乙畑小にいて、常勤の副担もつけていたが、やっぱりといって岡本に行った。中学校で戻ってきて、今は片中にいる。

市長

岡本特別支援学校は病弱の子ども向け。県内だと岡本特別支援学校と足利特別支援学校がそうだ。

保護者

那須塩原市で友達の子どもが生まれつき麻痺もあり、動くときに転びやすい。

市長

その子は普通学級に入っている？特別支援学級に入っている？

保護者

普通学級。もう一人の子は幼稚園の時に脊髄の方に腫瘍ができた。その影響で一人でおしっこができなくなり、時間で管を入れておしっこを出さなくてはならない。幼稚園の時は時間でお母さんが幼稚園まで通っていたが、小学校は正看護師の人がしてくれている。特別支援学級の子も居ると思う。人工呼吸器とか通院が必要な子も見てくれているという話は聞いたことがある。どの学校にもいるわけではなく、ある程度大きい学校の所に常勤の看護師を養護教諭とは別で入れているようだ。

市長

人口が三倍以上ある那須塩原市であれば1～2人。矢板市の規模からすると、市単独では合わないと思う。例えば、塩谷地区2市2町ですとか。あとは、負担金を払って越境が許されるか分からないが、那須塩原市へ入れてもらうとか。

保護者

小学校の時、友達の妹が手にはめる杖のような物を使い、足はハの字に曲がってしまっている子が東小に行っていた。多分、東小には階段の手すりが2つついている。元々一個だったものをその子が入るからといって改修工事をしてくれた。1～2年通っていたが特別支援に行ってしまった。障がいのある子に優しい環境作りが、市の行政もそうだが、その子達が矢板市に住むということがちょっと難しい。サービスをやってくれるところがない。受入れてくれるところはあるが選べない。苦勞しているお母さん方が多い。送迎もしなくてはいけない。どこまで行っているか聞くと国際とか。9時に送って行き、迎えが15時となると働きたくても短時間で雇ってくれるところはなく、お金もかかっている現状がある。

市長

那須塩原市の西那須野に特別支援学校、那須養護学校があり、矢板市は那須特別支援学校の学区になっているが遠い。スクールバスが市内を走っているが大変。片岡だと更に大変。さくら市氏家の荒川を渡れば南那須特別支援学校の学区になる。知的については、塩谷町は今市特別支援学校の学区。特別支援学校の知的は、やはり学区がある。身体はどうかというと、基本的にはのざわ特別支援学校。身体のが大変。

保護者

放課後デイは長井にあるが、矢板は数が少ない。

市長

選択肢は多いか少ないかと言ったら少ない。

保護者

プラス、その子達が今後成長して、就職となったときにサポートするところがあまりない。市としても障がい児の相談員の数が少ない。子どもだけの相談員をサポートしてくれるところはどこなのか？

市長

具体的なものは全然決まってないが、今年9月末に矢板健康福祉センターを4, 200万円で取得することにした。例えば、まちなかにぎわい館のボールプールを持ってきたり、いろいろな相談支援に応じられるような体制を整備してはどうかと考えている。どんな人に相談支援にあたってもらってもいいか決めていないが、社会福祉法人に委託するのも考え方だと思う。地域包括支援センターという高齢者福祉の相談支援拠点については、1箇所から2箇所に増やした。障害者児童センターはたかはら学園にお願いしているが、社福1社だと少ない。障がい者は、施設によって合う、合わないがある。たかはら学園が合わないとしたら、行き場が無くて市外。例えば、さくら市の桜花や那須塩原市、大田原に行ったときに親御さんの送迎の問題などがある。複数の法人でサービス内容を競い合い、その中で特色を打ち出すようなあり方は必要だと思う。

保護者

今回、千葉の災害でずっと停電が続いているところは、人工呼吸器が付いている子達に発電機を貸し出しているとニュースで見た。実際、うちの利用者の小学生が人工呼吸器で業者から親御さんのところに連絡があり、市から借りて下さいと言われたので、大田原市に確認したら、市で持っている発電機は無いと言われた。那須療育園にも1台しかない。人工呼吸器を使っている大人、子どもはいっぱいいると思うが、こういう現状が分かってきて、県の方では避難のあり方のプランを立てているようだ。人工呼吸器などは電気料もすごくお金がかかる。大田原市は大きくて、お金持ちのイメージがあったが、千葉などの大きいところに比べたら厳しい。

市長

災害が少なくとも他の地域と相対的に見て無い状況なので、準備が整わないというのもあると思う。災害弱者と言われている方、人工呼吸器をつけている方や難病患者の方の存在は多分把握していると思う。今回、矢板市でも内川沿岸の東泉から宮川合流地点のエリアを決めて、沿岸に住んでいる人については、消防団員が個別に周り避難を呼びかけた。例えば、人工呼吸器を付けている方、難病患者の方、発達障害の方など、福祉避難所の設定はしているが、ケアや支援のあり方を考えさせられた。あとはプライバシーが確保出来る場所など。医療機関に助けを求めるのもあるが、仕組みは作っているが、もっと今後は動かさないといけないと感じている。

Q6

保護者

災害の話の続きだが、避難勧告が「やいこみゅ」届いていた。私は登録しているが、お年寄りにはLINEをやっていないのでどうやって知ったのか。さくら市の方からは緊急エリアメールが鳴っていた。LINEを見ていない高齢者は大丈夫だったのか？

市長

片岡地区の特に大槻、乙畑の方からは、さくら市や塩谷町からはメールが入るのに、矢板は何をやっているのかと言われた。矢板市も何もやっていないわけではなく、防災行政無線での通知や防災行政無線と同じ内容のメールサービスを行った。ガラケーでも取れるので、登録を各地で呼びかけている。

保護者

氏家の情報はなぜ入るの？

保護者

氏家の市役所でテニスコートを借りていたときに登録した。

秘書広報課

エリアメールは市町村と電話会社で契約をしており、エリアで勝手に入ってしまう。

保護者

「やいこみゅ」はLINEで来るから写真もみられるし、避難所の状況もみられた。エリアメールは音が怖いし、設定から来ないようにした。

保護者

LINEをやっている人口がどのくらいかにもよる。

保護者

携帯を替えてから登録しなかった。

保護者

みんなが自然に登録できるようになればいい。

秘書広報課

今は複数で配信している。「やいこみゅ」はLINE、市のツイッター、アプリもある。みなさん知らないと思うが、市のアプリがあって一番即時性が一番ある。

保護者

アプリがある？

秘書広報課

「やいたぶ」というアプリがある。「やいこみゅ」は手動のため「やいたぶ」や「ツイッター」の情報をコピペして配信するのでタイムラグがある。あとは、先ほど市長が言っていたメール。今、防災メールは2,500人位が登録している。「やいこみゅ」は4,400人。アプリは今年の4月に始まったばかりで登録数は少ないが300人位。ツイッターが3,000人くらい。発信手法はいろんな媒体で行っているが、あとは受け手側の問題。

保護者

LINEは便利だからすごくいいと思う。他の市にはない。

秘書広報課

LINEは矢板くらい。県内だとほぼやっていない。「やいこみゅ」も情報を絞って配信しているので、「やいたぶ」入れると倍以上の情報が届く。

市長

エリアメール？

保護者

エリアメールは大槻、乙畑くらいしか入らなかった。

秘書広報課

市役所辺りは塩谷町が入った。

Q 7

保護者

文化会館は成人式までには直らないかもしれない？

秘書広報課

成人式は、明日の広報に載るがイースタンホテルで開催する。

市長

文化会館は使えない。年内はキャンセルをお願いした。年明けも苦しい。かなり長期間お休みとなる状況。成人式については、中学校単位の開催か、例年とやり方を変えて矢板イースタンホテルの二通りで検討し、イースタンホテルで決定。成人式の実行委員会を組んでいて、新成人の意向も生涯学習課の方で確認したと思うが、堅苦しい感じではなく、軽食かなんかを出してもらおうなど、例年とは違う形で記憶に残る成人式になればいいと思う。

保護者

幼稚園でもお遊戯会とかで使っている幼稚園もあった。

市長

かしわ幼稚園は平日に三島ホールと言っていた。今、一番何が困っているかというのと、1に文化会館。2に運動公園の野球場。野球場の道路の崖が崩れて土砂がグラウンドまで入ってきてしまった。

保護者

そこまでひどかった。

市長

踊りや歌を一生懸命されている方には申し訳無いが、11月3日の文化祭も間に合わない。片岡コミュニティホールが代替えになることが増えるので、元から使用している方には窮屈な感じになるかもしれないが、理解頂きたい。

Q 8

市長

中学生対象の海外派遣。最近は一泊二日のイングリッシュキャンプが流行っている。

出来れば全員。それで学力上がるかどうか分からないが、どう思うか。

保護者

興味は持つかもわからない。

保護者

強制の方が、しょうがない。行くかとなる。

市長

意欲のある、勉強ができる子どもだけが行ってもしかたない。とらえ方はどうか？

保護者

海外派遣は負担が大きい。行く前の研修。帰ってきてからも。指導する先生が一番大変だと思う。

保護者

それも含めてOKだからやると言っていると思うが。今年に関しては希望者が多かった。その年によって波がある。だったら、みんな平等に。

市長

予算が相当増えてしまうと思うが。市内の中学生全員が1泊2日、日本国内で。

保護者

そっちの方が全然良い。

保護者

近場で。

保護者

塩谷町の熊ノ木でイングリッシュキャンプがある。

市長

中学生なら、入ったら英語しか話してはいけないとか。ALTを投入するみたいなのができるといい。

保護者

そっちの方がいい気がする。

保護者

みんな平等でありかもしれない。

市長

学力向上のテコ入れにもなると思っている。

Q9

市長

片中の施設で困っていることは？

保護者

もっと人数が増えると、野球、サッカーのやる場所がない。

市長

通学路などはどうか。

保護者

サンユ一前のお寺の所が狭い。

市長

妙道寺、田中スタンド側も用地を買う計画がある。

保護者

江連燃料のところの丁字路。車が飛ばすし止まらない。信号もないし、歩いている子

も巻き込まれてしまう。

市長

拡幅の計画があり、安沢、梶ヶ沢から来る人達によく言われるが、用地が難しい。

保護者

歩くのも危ない。自転車も危ない。朝は高齢者の方が、小学生がいなくなるまで立っ
てくれている。

市長

危険な箇所だという認識は十分。

保護者

実際に何回か事故があった。

市長

聞いている。

保護者

横断歩道で子ども達が止まっているのに車は止まらない。

Q10

保護者

安沢小の近辺で土地開発をしている不動産業者から、安沢小はどうなるのかと聞かれ
た。いつまでにとというのが分かれば、住宅購入をされる方も決断できると思うので、ア
ナウンスした方が良いのでは。

市長

今回の案では、安沢小の中地区、豊田小、川崎小のJR線東側は東小になるが、東小
のキャパと老朽化の問題がある。東小のあり方をどうするか決めないと、安沢小を分割
するわけにはいかないし、安沢地区の子供をどのタイミングで片小にするかの話にも関
係してくる。安沢小は非常に難しい。場合によっては最後の最後になってしまう。

保護者

校舎も新しいし、もったいない。

市長

公共施設再配置計画の時、安沢小は建物の新しさや維持管理などのコストがかからな
いので残ったが、適正配置委員会の教育的な知見からは統合となった。具体的なところは
現在検討中。噂ばかりで何も決まっていない。豊田小は東小か矢小。30人位なので
受けられるかなと。

保護者

豊田小も一時期よりかは増えた。

市長

17人の時があった。あとは泉中。部活もできない。

保護者

泉中の子ども達がかわいそう。やりたいと思うことが出来ない。

市長

泉地区は小学校が1つになった。泉小・泉中で9年間同じでいいのかと。この子にはかなわないと思ったら全然。良くも悪くもそれでいってしまうので、それでいいのかという話。

保護者

どのくらいのスパン？数年以内ではなく10年先を見越して？

市長

安沢は難しい。矢板と片岡に分れるので。

保護者

アンケートを取ったと思うが、あの時は盛り上がったが今は下火。まだと分かってきた保護者もいる。変な噂も出ているが。

市長

乙畑小も難しい。つつじが丘ニュータウンの追加分譲が始まったが今がピーク。つつじが丘もこれ以上増えない。乙畑ひまわりスクールが県の青少年健全育成会議から表彰されるくらい一番良くまわっている。

保護者

あれがあってコミュニティが活性化したというところも

市長

ひまわりスクールに参加してくれる方でつつじヶ丘の方はいるのか？

保護者

孫がない人もいる。

市長

定着するのであれば乙畑をどうするか。片岡地区は少なくとも第1グループには入らない。

保護者

三地区の運動会を見たが、どの小学校も地元にも愛されている。

保護者

地元の色が濃いから交えるというのは難しい。矢板と片岡で一緒になるというのが間違っていると言っていた人がいた。その時区長が言っていたのが、小中一貫と言う目玉があれば地域の人達も納得してくれるのでは？といったらそれはあると言っていた。

市長

今は義務教育学校という言い方で、小学校5年で中学校4年というのもできる。義務教育学校は小山、佐野では始まった。9年間同じなのでカリキュラムを前倒しするとか。

保護者

前倒しで勉強、いいと思う。矢東の考え方のように5年で6年間の勉強を終わらせてしまう。

市長

公立なので私立のようにはないと思うが、例えば、5年生までは担任の先生が全て教える。6年生からは教科の担任の先生が教えるだけでも違うと思う。効果としては

あると聞いたことがある。いろいろ組める。そのうち義務教育学校や施設一体型の小中
一貫の評価が決まってくる。それからでも遅くはないかもしれない。

保護者

何か聞かれたら来年ではないと。まだまだ先の話だと。

市長

片岡地区は難しいと思う。高齢化率は上がっているが、片岡は横ばいと言っていいと
思う。持ち上げるわけではないが、片岡地区が矢板のまちを牽引していくようになって
もらわなくては困る。新しい事も片岡地区からはじめていきたいという考えがあるので、
みなさまのご理解とご協力をいただきたいと思っている。

保護者

それを力にすればいい。何かをやると言ったら片岡だから集まると思うので。

市長

これを機会に皆さんに提案させてもらったり、何かの機会に意見を聞かせもらいたい。

6 閉 会 20:58